

六郷排水樋管の遠隔操作化工事が完了しました

都内初!～市役所からの遠隔操作により再度災害の被害を軽減～

市では、令和元年東日本台風(台風第19号)に伴う浸水被害を受け、浸水被害軽減のための短期対策の1つとして、六郷排水樋管を遠隔で操作するための工事を実施し、5月31日をもって工事が完了しました。市役所からの遠隔操作化機能を持つ下水道施設は都内初となります。
※猪方排水樋管の遠隔操作化についても工事を進めており、年度内に完了予定です。

工事の目的

台風等により多摩川が増水した場合、多摩川の河川水が住宅地側に逆流することを防ぐため、六郷排水樋管のゲート(門扉)を閉める必要があります。一方で、住宅地側の雨水を排水するためには、ゲートを開ける必要があります。こうした操作は通常現地にある操作室で行えませんが、強風や不測の事態が発生し、職員が操作室に近づけないケースが発生することが想定されます。

市では、こうした事態に備えるため、排水樋管の操作を市役所からできるように改善し、市民の生命と財産を守り、安心安全を確保します。また、対応にあたる職員の安全も確保します。

遠隔操作化イメージ



職員が現地のみで操作
退避後の操作は不可能



原則職員が現地で操作
緊急時は市役所から遠隔操作
退避後の状況変化にも対応可



樋管の水位情報について

令和元年東日本台風の被害を踏まえた水害対策の一環として、六郷・猪方排水樋管に設置した水位計・監視カメラによる水位情報を公開しています。ホームページは利用しやすくなるよう随時リニューアルしていますので、ぜひご利用ください。



水位情報はこちら

問合せ先 下水道課施設管理係 ☎03-3430-1304

浸水への備えをお願いします! ～家庭でできるゴミ袋を使った簡易水のうの活用例～



豪雨時には、雨水ますに流れきらなかった雨が道路から建物に流れ込み、浸水を引き起こす恐れがあります。浸水を防止するために、ゴミ袋を利用して、「簡易水のう」を作ることができます。簡易水のうは段ボール箱と併用することで強度が増します。

なお、これらの簡易水のうは、あくまで小規模な浸水で水深の浅い初期の段階で使用するものです。雨量や浸水の状況を見極め、危険を感じる前に早めに避難しましょう。

<p>簡易水のうと段ボール箱の併用</p>	<p>ゴミ袋を利用した簡易水のう</p>	<p>ポリタンクをレジャーシートで巻いた水のう</p>	<p>簡易水のうによる逆流の抑制</p>
-----------------------	----------------------	-----------------------------	----------------------

問合せ先 下水道課事業経営係 ☎03-3430-1358